

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ソーシャルフットボール協会

1 事業の成果

今年度は国内各地で当会会員が中心となって運営する大会等の主催、共催、運営協力、後援等をおこなった。そのようなことから活動が全国的に広がりを見せ、精神障害者フットサルの普及及び競技人口の増加に繋がったと思われる。今年度は、5月に国際大会がイタリアで開催され、2連覇を目指したが、残念ながら準々決勝で敗退した。また、今年度は初めての試みとして、九州、四国、中国、関西、東海、甲信越北陸、関東、東北のブロックによる全国地域選抜選手権大会を2日にわたり開催した。クラブチームでは全国大会に出場できなかった選手に活躍の機会と希望を提供できた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
(1) 精神疾患及び精神障がいをもつ人を対象とするフットボール全国大会等の開催	ソーシャルフットボール大会各地域大会	4月～7月	東京・四国・北陸・甲信越・関東・東海・九州 北海道・東北	120名	精神疾患・障害をもつ人および観客 950人	452
	第1回ソーシャルフットボール地域選抜選手権大会	11月10日～11日	帝京科学大学体育館	145名	精神疾患・障害をもつ人及び観客 188人	230
(2) 一般市民と精神疾患・障がいをもつ人がともに楽しむフットボール大会等の開催	疾患・障害の有無を超えて結成されたチームの参加、精神疾患・障がいをもつ人のチームと一般市民のチームが分け隔てなく対戦するバリアフリー大会等の開催	6月16日	千葉 ポートアリーナ	19名	市民・精神疾患をもつ人及び観客 105名	-
		6月3日	ノア・フットサルステージ茨木	20名	100人	
(3) 選手の育成及び技術向上のためのフットボール教室等の開催	フットボール初心者への入門教室や経験者・上級者のスキルアップのためのクリニック等の開催	毎月第3日曜日	大阪	5名	市民・精神疾患をもつ人 15名	—
(4) 関係機関との協力・協働による講演会等の実施	大阪市ソーシャルフットボール講習会	8月13日	大阪市	5名	市民・精神疾患をもつ人 35名	—
	女性のためのソーシャルフットボールクリニック	10月8日	大阪市	6名	市民・精神疾患をもつ人 15名	—
	身体づくり講習会	3月17日	大阪市	2名	市民・精神疾患をもつ人 13名	—
	ソーシャルフットボール体験会～フットサル交流会～	12月8日	キャプテン翼スタジアム 東京北	8名	精神疾患・障がいをもつ人とその支援者 69名	0

	トップアスリートによるフットサル教室&トークセッション	3月21日	明治学院大学 白金 キャンパス	8名	精神疾患・障がいをもつ人とその支援者 42名	55
(5) 国際的な交流事業や国際大会の実施	Dream World Cup 2018 壮行会	5月9日	JFAラウンジ	8名	日本代表選手・スタッフ、日本障がい者サッカー連盟 12名	0
	Dream World Cup 2018	5月10日～16日	イタリア	11名	日本代表選手 12名	1642
	Dream World Cup 2018 解散式	5月17日	東京国際空港	11名	日本代表選手他 19名	50
(6) 普及啓発のための講演と選手の育成	ソーシャルフットボールDream World Cup 2018 報告会	11月19日	クロスパル 高槻 5F視聴覚室	5名	市民・精神疾患・障がいをもつ人 15名	23
(7) 普及啓発のためのホームページ等の運営	ホームページによる情報の発信	通年	事務所	5名	市民・不特定多数	0